

元タカラジェンヌ  
名古屋の応援ソング歌う

まほろば遊<sup>ゆう</sup>さん

♪尾張名古屋の真ん中にズズッとそびえる名古屋城…。地元の魅力を歌詞にちりばめて作曲した「名古屋よいとこ節」。新たに振りも付き「まちの応援歌として末永く親しんでもらえれば」と踊りながら歌声を響かせる。

元宝塚歌劇団月組男役のシンガー・ソングライター。三十歳の時に結婚を機に東京から名古屋へ。知り合いのいない土地での生活や育児に悩み、甲状腺がんも患つ。



この人

心身に不調をきたす中、「出会った多くの皆さんに支えてもらった」。感謝の気持ちを込めて五年前に作ったのが、この歌だ。

名古屋を拠点とする日本舞踊西川流の師範西川長秀<sup>ながひさひで</sup>さんから昨秋「歌詞に振りを付けたい」と申し出があった。今夏の教育関連イベントで披露すると、会場からは大きな拍手が。地元の高校吹奏楽部が練習していると伝え聞き、「チームになれば」と期待する。

人生の転機から二十年。原爆が投下された広島で焼失を免れた「被爆ピアノ」を題材に作った曲と絵本で平和の尊さを訴えたり、SDGs（持続可能な開発目標）の普及活動をしたりと、八面六臂の活躍をする。「名古屋に来て本当に良かった」（小松原康平）